

1.2. 2015シーズンはリーグ戦全戦にスタメンとして出場している 3. 疲れてもファンサービスは欠かさない 4.5. 小平グランドでの練習風景。スティックにサッカーに向き合う太田選手は準備も練習も人一倍行うという



太田宏介(おおた こうすけ) 1987年7月23日生まれ 小川小学校、つくし野中学校卒業。現在、J1のFC東京に所属 <http://www.fctokyo.co.jp/>

特集 3 FC東京 太田 宏介



サッカー選手として活躍し続けること。それが、町田への恩返し

Jリーグ1部出場で全国第2位の町田市は少年サッカーの町としても有名でFC町田ゼルビアの活躍も地域に根付いている。そんな町田市に生まれ、空前のサッカーブームだった頃彼は今、日本トップクラスのサイドバックとして新たなステージに立つ。

「町田には恩返ししたいという想いが凄くあります。北澤さん、戸田さん以降、ワールドカップの出場選手もいないですし、自分が代表として活躍し続けること、町田の誇りに思ってもらえるような選手であり続けることで恩返しをしたいと思っています。」シーズン中でもオフの日には実家やお墓参り、母校の応援などで帰って来る度、原点に戻る大切な故郷、町田。市民榮譽彰に輝いた先輩Jリーガーを越える活躍が、これから、そして3年後のワールドカップで見られるかも知れない。

高校卒業後、横浜FCへ加入、その年にJリーグとしてデビュー。翌年にはU20日本代表にも選ばれた。09年、清水エスパルスへ移籍し翌年にはアジアカップ最終予選で日本代表デビューを飾る。12年にはFC東京へ移籍し、13、14年にJリーグ優秀賞、昨年はベストイレブンにも輝いた。左利きの左サイドバックとして、守備だけでなく攻撃参加にも積極的な彼は、今年3月のウズベキスタン戦でアシストも演出し、現在、JリーグのDF史上最多アシスト記録を更新している。正に今、名実ともに国内トップクラスのサイドバックなのだ。

高校は淵野辺の麻布大学付属高校に進学。川崎フロンターレでA代表にも選ばれている小林悠選手とチームメイトとなり、サッカー部を初の全国大会出場へと導いた。

太田選手がサッカーを始めたのは幼稚園に通っていた時のこと。サッカー好きな友達の影響だった。5歳で地元のサッカークラブ「つくし野サッカースポーツ少年団」に入団。小学生になると学校でも休み時間はサッカーばかり。クラブの練習がない日も、練習が終わった後も家の前でボールを蹴り続けた。クラスではムードメーカーだったが、ゲームにもマンガにも全く興味の無い、根っからのサッカー少年だった。「6歳の時、Jリーグが開幕して、カズさん(三浦知良選手)が憧れでしたね。北澤(豪)さんも毎年サッカーフェスティバルに来ていて、その頃には「将来は絶対サッカー選手になる」って決めていました。サッカーばかりやっていたので町田に帰っても同級生の友達が殆どいないんです。サッカー関係の友達は沢山いますけれど。」小学校の修学旅行も選抜チームの遠征で行っていない。遠足や文化祭、大きな行事にも殆ど参加しなかった。サッカー漬けの日々だった。